

野村世界業種別投資シリーズ (世界資源株投資)

運用報告書(全体版)

第13期 (決算日2022年6月28日)

作成対象期間 (2021年6月29日～2022年6月28日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2009年8月27日から2024年6月28日までです。
運用方針	世界各国の資源関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。株式への投資にあたっては、定量分析により銘柄群の絞込みを行なった後、トップダウン・アプローチによる世界全体のマクロ経済見通し等を考慮しつつ、地理的・地質学的条件、生産コスト、価格決定力、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。また、個別銘柄評価とポートフォリオ全体のリスク特性などを総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	世界各国の資源関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		株組入比率	株先物比率	純資産額
		税金	込配	み金	期騰	落中率			
	円	円	円	%	%	%	%	百万円	
9期(2018年6月28日)	12,958		150	15.0	16.8	99.0	—	673	
10期(2019年6月28日)	11,881		100	△7.5	△6.1	95.9	—	771	
11期(2020年6月29日)	9,213		0	△22.5	△21.5	93.6	—	769	
12期(2021年6月28日)	13,705		190	50.8	54.1	93.6	—	1,352	
13期(2022年6月28日)	16,853		390	25.8	22.8	96.4	—	5,073	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* ベンチマーク（=MSCI All Country World Energy & Materials（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI All Country World Energy & Materials（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 * MSCI All Country World Energy & Materials（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所
 有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所) MSCI、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
		騰落率	騰落率		
	円	%	%	%	%
(期首) 2021年6月28日	13,705	—	—	93.6	—
6月末	13,473	△1.7	△1.7	96.3	—
7月末	13,318	△2.8	△2.3	98.3	—
8月末	13,278	△3.1	△2.9	97.3	—
9月末	13,356	△2.5	△2.0	97.3	—
10月末	14,306	4.4	5.1	91.9	—
11月末	13,873	1.2	0.9	98.0	—
12月末	14,371	4.9	5.8	97.2	—
2022年1月末	15,213	11.0	9.2	93.1	—
2月末	15,645	14.2	11.8	96.5	—
3月末	17,837	30.1	25.5	90.7	—
4月末	17,541	28.0	24.3	94.9	—
5月末	19,168	39.9	34.2	95.9	—
(期末) 2022年6月28日	17,243	25.8	22.8	96.4	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：13,705円

期 末：16,853円 (既払分配金(税込み)：390円)

騰落率： 25.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年6月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI All Country World Energy & Materials (税引後配当込み・円換算ベース)です。ベンチマークは、作成期首(2021年6月28日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (横ばい) OPEC (石油輸出国機構) とロシアなど非加盟国からなる「OPECプラス」が、原油の段階的増産で合意したことを背景に原油価格が軟調に推移し、エネルギー株が下落したこと、一方、堅調な需要見通しに支えられ、銅やニッケルの価格上昇を受け資源株が上昇したこと
- (横ばい) 世界的な経済活動の再開によるエネルギー需要の回復を背景に天然ガスや原油の価格が堅調に推移したこと、一方、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大や、中国の大手不動産会社の債務問題を背景とした需要減退懸念等から、商品市況が下落したこと
- (上 昇) ロシアとウクライナの緊張の高まりを背景に原油価格が上昇したこと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化を受け原油やアルミニウムなどの供給懸念が強まり商品市況が上昇したこと、為替市場で円安が進行したこと

- （下 落）中国の主要都市のロックダウン（都市封鎖）や、米国の利上げ加速観測の高まりを受け世界的な景気減速懸念が強まったこと
- （上 昇）中国のロックダウン解除への期待が高まったこと、円安が一段と加速したこと
- （下 落）欧米各国の中央銀行による積極的な金融引き締めを受け、世界景気の減速懸念が再び強まったこと

○投資環境

当期の世界の資源・エネルギー株は、期初、OPECとロシアなど非加盟国からなる「OPEC プラス」が、原油の段階的増産で合意したことを背景に原油価格が軟調に推移したことなどからエネルギー株は下落して始まりました。一方、資源株は、堅調な需要見通しに支えられ、銅やニッケルの価格が上昇したことを受け上昇基調で始まり、その後、新型コロナウイルスの変異株の感染再拡大で世界景気の減速懸念が広がり下落しました。

2021年10月に入ると、世界的な経済活動の再開によるエネルギー需要の回復を背景に天然ガスや原油の価格が堅調に推移したことなどから上昇しました。11月中旬以降は、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大や、中国の大手不動産会社の債務問題を背景とした需要減退懸念等から、商品市況が下落したことを受けて、資源株、エネルギー株とも下落基調で推移しましたが、12月以降は、中国の景気刺激策を受けて原油や鉄鉱石、銅などの商品価格が上昇したことが好感され反発しました。

2022年1月以降は、ロシアとウクライナの緊張の高まりとその後のロシアによるウクライナへの軍事侵攻を背景に、原油や金を中心に商品市況が堅調に推移したことなどから、上昇しました。その後、米国の利上げ加速への懸念から一旦下落したものの、軍事侵攻の長期化を受け原油やアルミニウムを始め多くの商品の供給懸念が強まり商品市況が堅調に推移したことから、資源・エネルギー株とも再び上昇しました。

4月下旬以降は、中国の主要都市のロックダウンや米国の利上げ加速観測を受けて、原油や銅、鉄鉱石の価格が軟調に推移したことなどから、資源株を中心に大幅下落しました。その後はロックダウンの解除への期待から反発しました。6月上旬以降は、米国のインフレ加速や欧米各国の中央銀行による積極的な金融引き締めによる世界景気の減速懸念が強まったことから資源株、エネルギー株とも期末にかけて下落しましたが、当期において世界の資源・エネルギー株は上昇となりました。

一方、為替市場では、2021年9月下旬以降、米債務上限問題が先送りされたことや、米金融政策の正常化が意識され長期金利が上昇基調を強めたことなどから、米ドル高が進行しました。その後、2022年3月以降は、エネルギー価格の高騰やサプライチェーン（供給網）の混乱などによる物価上昇に対応するべくFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め姿勢を強める一方、日銀が緩和的な金融政策を維持したことなどを背景に日米の金利差が拡大し、米ドル高が急速に進行し、当期においては米ドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 地域・国別配分では、米国、日本、英国などをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、インド、ブラジル、ロシアなどを非保有としました。
- (2) 業種別配分では、期を通じて素材とエネルギーともにおおむねベンチマーク並みとしました。素材の中では化学をオーバーウェイトとする一方、建設資材や紙製品・林産品などをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (3) 個別銘柄では、シェブロン（米国）、エクソンモービル（米国）、BHPグループ（豪州）などを上位に組み入れました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

ベンチマーク（MSCI All Country World Energy & Materials（税引後配当込み・円換算ベース））が22.8%の上昇となったのに対して、基準価額は25.8%の上昇となりました。

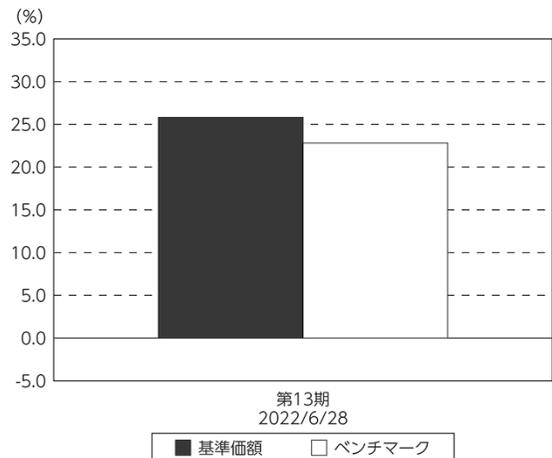
（主なプラス要因）

- ①地域・国別配分で、ベンチマーク構成国から除外されたロシアなどを非保有としたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回った建設資材などをアンダーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄において、株価騰落率がベンチマークを上回ったカナディアン・ナチュラルリソース（カナダ）やEOGリソース（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回った日本や韓国などをオーバーウェイトとしたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回った化学をオーバーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄において、株価騰落率がベンチマークを下回ったBASF（ドイツ）やユミコア（ベルギー）などをオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCI All Country World Energy & Materials（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり390円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第13期
	2021年6月29日～ 2022年6月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	390 2.262%
当期の収益	300
当期の収益以外	90
翌期繰越分配対象額	6,853

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

・投資環境

- (1) 米国経済は、労働市場や個人消費が堅調に推移する一方、企業は今後の展望に対して慎重な姿勢を強めています。また、急速な物価上昇を受けて金融政策の正常化を急ぐFRBは6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.75%の大幅利上げを決定しました。さらに、パウエルFRB議長は7月のFOMCでも大幅利上げとなる可能性を示唆しています。今後もFRBは、継続的な利上げによる米国景気への影響など、経済データを注視しつつ金融政策運営を行なうと見られます。
- (2) 欧州経済は、6月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が5月と比較して大幅に低下しましたが、今後も、エネルギーなどの価格高騰が企業の景況感や消費者心理に与える影響を注視しています。また、足元の物価上昇に対応するためECB（欧州中央銀行）は、7月に0.25%の利上げを行ない、さらに9月には0.5%の追加利上げを行なう可能性を示唆しており、こうした金融引き締めが企業業績や景気に与える影響も注目されます。
- (3) 中国経済は、2021年後半の不動産業界の債務問題や電力不足問題に加え、2022年前半は新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う主要都市におけるロックダウンの影響などにより経済成長率は押し下げられました。しかし一方で、4月の中央政治局会議で政策支援強化の方針が示されたことに続き、5月には実質的な政策金利であるLPR（最優遇貸出金利）の引き下げやロックダウンによる影響を軽減するための具体的な景気刺激策が発表されました。また、足元ではインターネット企業に対する規制強化の動きも沈静化するなど、政府が金融・財政両面での支援策による経済の下支えに積極的な姿勢を見せていることなどから、大幅な景気減速や金融不安のリスクは限定的と見ています。

・運用方針

- (1) 当ファンドはボトムアップアプローチを重視し、地理的・地質学的条件、生産コスト、価格決定力、利益構造などの観点から競争力などが評価され、各分野において需要拡大の恩恵を受ける企業群に投資します。ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、地域・国別配分、業種別配分ともに市場の時価総額構成比を意識した配分を行ない、世界の資源・エネルギー株市場全体の動きを反映したリターンの獲得を目指します。
- (2) 今後の運用方針としては、FRBが想定よりも早いペースでの利上げやバランスシート縮小を行なう可能性や、混迷するウクライナ情勢が景気動向や商品市況に与える影響を考慮しながら慎重に銘柄選択を行ないます。一部商品の需給ひっ迫の恩恵を受けると見られる鉱山株が多い金属・鉱業株をオーバーウェイトとし、ESG（環境・社会・企業統治）の観点からは優良な投資候補が少ないと考える建設資材株をアンダーウェイトとする方針です。また、原油価格の調整リスクを懸念し、石油・ガス・消耗燃料株をアンダーウェイトにしていますが、一部の銘柄の株価にはこのリスクがすでに織り込まれており、魅力的な投資対象になっていると考えます。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年6月29日～2022年6月28日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 249 (119) (119) (12)	% 1.650 (0.787) (0.787) (0.077)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	29 (29)	0.193 (0.193)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	29 (29)	0.189 (0.189)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	11 (10) (1) (0)	0.070 (0.066) (0.004) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	318	2.102	
期中の平均基準価額は、15,114円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

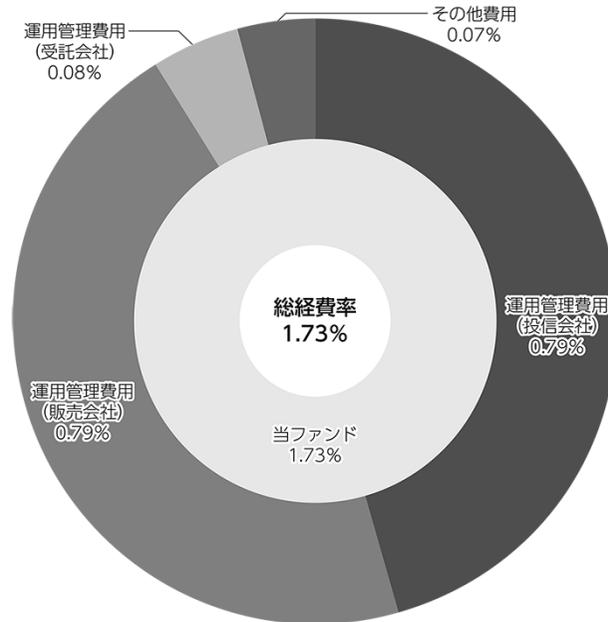
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年6月29日～2022年6月28日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 138	千円 267,498	千株 26	千円 46,994
	アメリカ	百株 1,728	千米ドル 15,063	百株 232	千米ドル 1,946
外 国	カナダ	822	千カナダドル 4,396	142	千カナダドル 482
	イギリス	2,269	千英ポンド 2,920	242	千英ポンド 383
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	168	918	18	119
	イタリア	706	954	57	70
	フランス	40	645	6	105
		(5)	(-)		
	ベルギー	73	278	74	292
	アイルランド	141	708	2	86
	香港	—	千香港ドル —	45	千香港ドル 176
インドネシア	83	千ルピア 81,001	—	千ルピア —	
韓国	27	千ウォン 723,012	—	千ウォン —	
オーストラリア	2,166 (84)	千豪ドル 2,598 (-)	68	千豪ドル 183	
南アフリカ	2,753	千ランド 18,748	17	千ランド 557	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年6月29日～2022年6月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,456,702千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,041,136千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.18

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月29日～2022年6月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年6月28日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株		千円
化学 (37.8%)					
日産化学		2.1	7.5		48,000
信越化学工業		2	4.3		67,187
関西ペイント		7	—		—
石油・石炭製品 (34.2%)					
出光興産		—	13.2		44,220
E N E O S ホールディングス		54.1	116.1		60,186
鉄鋼 (28.0%)					
日本製鉄		7.6	44.5		85,440
合 計	株 数 ・ 金 額	72	185		305,033
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	5		< 6.0% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALBEMARLE CORP	20	20	453	61,404	化学	
CHEVRON CORP	69	130	1,925	260,905	石油・ガス・消耗燃料	
CONOCOPHILLIPS	63	183	1,687	228,664	石油・ガス・消耗燃料	
CORTEVA INC	55	140	760	103,091	化学	
DEVON ENERGY CORP	—	190	1,098	148,758	石油・ガス・消耗燃料	
DUPONT DE NEMOURS INC	46	115	663	89,921	化学	
EOG RESOURCES INC	36	112	1,283	173,849	石油・ガス・消耗燃料	
EXXON MOBIL CORP	86	332	2,959	400,969	石油・ガス・消耗燃料	
HALLIBURTON CO	55	223	720	97,591	エネルギー設備・サービス	
MARATHON PETROLEUM CORP	40	85	747	101,269	石油・ガス・消耗燃料	
NEWMONT CORP	53	110	702	95,124	金属・鉱業	
NUCOR CORP	34	87	963	130,515	金属・鉱業	
PHILLIPS 66	26	118	1,028	139,403	石油・ガス・消耗燃料	
WESTROCK CO	16	149	610	82,744	容器・包装	
LINDE PLC	—	38	1,125	152,521	化学	
LYONDELLBASELL INDU-CL A	31	94	829	112,349	化学	
小計	株数・金額	633	2,129	17,560	2,379,086	
	銘柄数<比率>	14	16	—	<46.9%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES LTD	77	256	1,762	185,625	石油・ガス・消耗燃料	
ENBRIDGE INC	46	110	597	62,942	石油・ガス・消耗燃料	
FIRST QUANTUM MINERALS LTD	—	151	405	42,748	金属・鉱業	
NUTRIEN LTD	51	73	796	83,932	化学	
SUNCOR ENERGY INC	128	269	1,237	130,311	石油・ガス・消耗燃料	
TC ENERGY CORP	28	84	573	60,406	石油・ガス・消耗燃料	
WHEATON PRECIOUS METALS CORP	—	67	334	35,239	金属・鉱業	
小計	株数・金額	331	1,011	5,708	601,206	
	銘柄数<比率>	5	7	—	<11.8%>	
(イギリス)			千英ポンド			
ANTOFAGASTA PLC	47	273	334	55,552	金属・鉱業	
RIO TINTO PLC-REG	69	163	825	137,271	金属・鉱業	
BP PLC	749	2,264	886	147,421	石油・ガス・消耗燃料	
ANGLO AMERICAN PLC	95	224	704	117,080	金属・鉱業	
CRODA INTERNATIONAL PLC	20	83	533	88,746	化学	
小計	株数・金額	983	3,010	3,285	546,072	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<10.8%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BASF SE	52	202	865	123,900	化学	
小計	株数・金額	52	202	865	123,900	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.4%>	
(ユーロ…イタリア)						
ENI SPA	235	885	1,011	144,886	石油・ガス・消耗燃料	
小計	株数・金額	235	885	1,011	144,886	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.9%>	
(ユーロ…フランス)						
AIR LIQUIDE SA	20	59	797	114,159	化学	
小計	株数・金額	20	59	797	114,159	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.2%>	

野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）

銘柄	期首(前期末)	当 期		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ…ベルギー)		百株	百株	千ユーロ	千円
UMICORE		54	53	179	25,702
小 計	株 数 ・ 金 額	54	53	179	25,702
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.5%>
(ユーロ…アイルランド)					
CRH PLC		9	145	480	68,863
LINDE PLC		8	12	347	49,814
小 計	株 数 ・ 金 額	18	157	828	118,678
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<2.3%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	381	1,357	3,681	527,326
	銘柄 数 < 比 率 >	6	6	—	<10.4%>
(香港)				千香港ドル	
ANHUI CONCH CEMENT CO. LTD-H		45	—	—	—
小 計	株 数 ・ 金 額	45	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>
(インドネシア)				千ルピア	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK PT		1,164	1,247	913,427	8,403
小 計	株 数 ・ 金 額	1,164	1,247	913,427	8,403
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.2%>
(韓国)				千ウォン	
LG CHEMICALS LTD		1	10	564,075	59,509
S-OIL CORPORATION		24	43	448,136	47,278
小 計	株 数 ・ 金 額	26	53	1,012,211	106,788
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<2.1%>
(オーストラリア)				千豪ドル	
AMCOR PLC-CDI		83	68	121	11,403
BHP GROUP LIMITED		154	470	1,936	181,630
WOODSIDE PETROLEUM		21	—	—	—
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD		—	84	266	24,948
SOUTH32 LTD		—	1,820	735	68,962
小 計	株 数 ・ 金 額	260	2,443	3,059	286,945
	銘柄 数 < 比 率 >	3	4	—	<5.7%>
(南アフリカ)				千ランド	
ANGLOGOLD ASHANTI LTD		56	156	3,939	33,681
SIBANYE STILLWATER LTD		—	2,636	11,084	94,773
小 計	株 数 ・ 金 額	56	2,792	15,023	128,454
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<2.5%>
合 計	株 数 ・ 金 額	3,881	14,045	—	4,584,283
	銘柄 数 < 比 率 >	38	43	—	<90.3%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2022年6月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	4,889,317	93.5
コール・ローン等、その他	338,799	6.5
投資信託財産総額	5,228,116	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（4,645,077千円）の投資信託財産総額（5,228,116千円）に対する比率は88.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.48円、1カナダドル=105.32円、1英ポンド=166.21円、1スイスフラン=141.70円、1ユーロ=143.22円、1ルビア=0.0092円、1ウォン=0.1055円、1豪ドル=93.79円、1ランド=8.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年6月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,228,116,282
コール・ローン等	328,239,427
株式(評価額)	4,889,317,543
未取配当金	10,559,312
(B) 負債	154,120,673
未払収益分配金	117,415,345
未払解約金	10,548,470
未払信託報酬	26,104,471
未払利息	232
その他未払費用	52,155
(C) 純資産総額(A-B)	5,073,995,609
元本	3,010,649,882
次期繰越損益金	2,063,345,727
(D) 受益権総口数	3,010,649,882口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,853円

(注) 期首元本額は986,683,319円、期中追加設定元本額は2,834,141,016円、期中一部解約元本額は810,174,453円、1口当たり純資産額は1,6853円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額8,929,377円。

○損益の状況 (2021年6月29日～2022年6月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	90,586,749
受取配当金	90,506,552
受取利息	80,494
その他収益金	2,151
支払利息	△ 2,448
(B) 有価証券売買損益	57,926,033
売買益	551,807,564
売買損	△ 493,881,531
(C) 信託報酬等	△ 38,556,046
(D) 当期損益金(A+B+C)	109,956,736
(E) 前期繰越損益金	66,288,869
(F) 追加信託差損益金	2,004,515,467
(配当等相当額)	(1,269,291,444)
(売買損益相当額)	(735,224,023)
(G) 計(D+E+F)	2,180,761,072
(H) 収益分配金	△ 117,415,345
次期繰越損益金(G+H)	2,063,345,727
追加信託差損益金	1,977,419,618
(配当等相当額)	(1,242,195,595)
(売買損益相当額)	(735,224,023)
分配準備積立金	85,926,109

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2021年6月29日～2022年6月28日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年6月29日～ 2022年6月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	67,067,561円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	42,889,175円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,004,515,467円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	66,288,869円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,180,761,072円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,243円
g. 分配金	117,415,345円
h. 分配金(1万口当たり)	390円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	390円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。